

2015
10

広報～風・菜・樹

ふなき便り

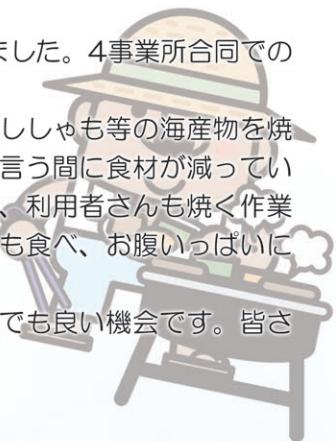
• 社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

みんなで楽しむ！バーベキュー！

9月4日(金)に障害福祉サービス事業部の恒例行事、バーベキューを行いました。4事業所合同での開催ですので、利用者さんと職員で総勢100名を超える行事となりました！

各班にバーベキューコンロを設置し、大皿で運ばれるお肉や野菜、イカやししゃも等の海産物を焼いて食べます。屋外ということもあり、開放感から食も進むようで、あっと言う間に食材が減っていきました。食事中は、各班で利用者さんと職員がお話をしながら楽しんだり、利用者さんも焼く作業を手伝ったりと、和気あいあいとした様子でした！しめのデザートにスイカも食べ、お腹いっぱいになりました。

こういった行事は事業所間の交流にもなりますので、関係性を深める意味でも良い機会です。皆さんリフレッシュできた様子で、満足の1日となりました。



事前準備



枝豆は趣味で畑作りをする利用者さんからお裾分けをいただきました！



会場の様子



まだまだ暑い初秋。お肉を食べて汗をかいてます！会場は左の写真の通り大盛況です！

美味しいかった。
楽しかったよ♪

お腹いっぱい食べた!
苦しかった(笑)



ヴィラふなき 長門へ旅行！

9月13日（日）、ヴィラふなきの旅行第1弾として海産物と音楽鑑賞を目的に利用者・職員合わせ12名で長門へ行ってきました。

晴天に恵まれ、綺麗な海に青い空を堪能し、一息ついたところで仙崎にある千石寿司での昼食。お刺身、天ぷら、茶碗蒸しとお腹がいっぱいになりましたが、食後のデザートにソフトクリームを食べる方もいらっしゃいました。午後からは航空自衛隊『西部航空音楽隊コンサート』です。自由席だったのですが、開場30分前から並んだことで、希望していた2階席を確保することができました。すばらしい演奏を生で聴くことが出来、素敵なお時間を過ごすことができました。

今後第2弾、3弾と続きますので、内容については乞うご期待！



海の風を感じながら食べるソフトクリームは美味しい！



ケーキパーティー♪

9月20日（日）、ヴィラふなきで余暇活動「ケーキパーティー」を行いました。美味しいものを食べよう！甘いものを食べたい！という利用者さんの希望から今回のケーキパーティーを実施することになりました。

美味しいと評判のお店の本格的な、そして甘い香りと色とりどりのケーキです♪定番のショートケーキから、可愛いくまさんを模したものまで、たくさんの種類があります。甘いものは別腹といいますが、いくらでも食べられそうですね！

普段はこんなにたくさんのケーキを買うことがないので、その数に圧倒されましたが、皆さん自分の頼んだケーキを楽しんで食べられていました。



ケーキを2個も食べられて幸せでした☆

利用者さんの こころのメロディ♪

今回はヴィラふなきの利用者さんの想いです。

今年の7月に73歳を迎えました。昔ハイツふなきでお世話になってから現在のヴィラふなきフレンドハウス棟に移り、早いもので22年目を迎えました。

以前、ハイツふなきを卒業して違うグループホームにもおりました。そこは相部屋であり、何かと不自由と感じる事が多く、その後ヴィラふなきに移り、メイト棟・フレンド棟と生活の場を移してきましたが、買い物など自由な生活を送れて良かったと思っています。

また、今は敷地内の作業所のレストラン「サムラ」で厨房の仕事をしています。何かと忙しく、若いメンバーと話をする機会もなかなかありませんが、働けるうちは働きたいと思い、頑張っています。しかし、将来に対する不安はあります。近いうちに老人施設へ移りたいと思っているので、何かとヴィラふなきの職員さんにはこれから相談事が増えるかもしれません。

73年生きてきて、今大切にしている事は必要以上に他人に干渉しない事です。あれこれと口を出すと必ずトラブルになります。平穏に生活する事が何よりも大切だと思います。

総合防災訓練

9月18日（金）、障害福祉サービス事業部4事業所合同で総合防災訓練を行いました。

今回はヴィラふなき利用者居室からの出火を想定し、消防への通報、現場の初期消火活動、各棟・各事業所への連絡、利用者皆さんの避難誘導を実施しました。また避難時だけが人が発生した事も想定し、救護活動も併せて行いました。それぞれの事業所が毎月地震や火災、夜間時といったテーマを設定して防災訓練を行っておりまます。

スムーズな通報・初期消火・避難誘導が行えたのも日頃の訓練の賜物であり、また総合防災訓練ではそれぞれの事業所が消火活動や避難誘導を声かけあって、利用者も率先して集合場所まで避難して互いに点呼しあい、参加した全員で協力して取り組む事が出来ました。

今後も訓練を通し、現場から出た意見や感想を元により円滑な防災活動に取り組んで参ります。



消防への通報訓練の様子。
火災状況を冷静に伝えます。



焦らずに、急いで避難します。
職員は避難誘導に向かっています。



指定した避難場所へ集合、
点呼をし、利用者さんの安否を確認します。



避難完了後に、安全衛生委員会と佐伯所長から講評がありました。

第7回 アウトリーチによる地域ケアマネジメント研修 参加

9月1日～4日まで東京の小平市にある国立精神・神経医療研究センターで行われた、第7回アウトリーチによる地域ケアマネジメント（福祉型）研修に参加させていただきました。

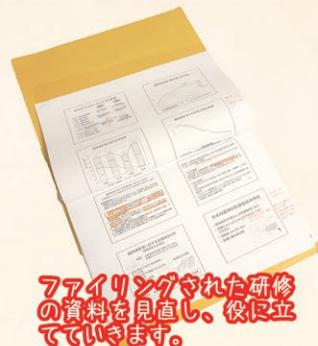
この研修では、精神障害者・知的障害者の安定した地域生活の支援、退院促進を目指したアウトリーチによる地域ケアマネジメント、障害者総合支援法上の相談支援、訪問による生活訓練の実践を普及させるため、必要な技術や課題の修得を目的としており、全国各地より、障害者総合支援法における社会福祉サービスの事業者、医療機関、市町村等に属する医療・社会福祉従事者（精神保健福祉士、社会福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師、作業療法士、医師等）が参加されました。

私は現在、自立訓練（生活訓練）を行っている事業所に配属されているのですが、参加者の多くが生活訓練の事業所で働かれており、日々の業務や支援の方法、社会資源等、情報交換を行うことが出来ました。

そして、講義の中では訪問型の生活訓練が多く取り上げられていました。事例等を知ることができ、まだまだ実践が少ない分野であるため大変参考になりました。訪問型の生活訓練は地域の当事者の方を支えるための重要な資源に成り得ます。ハイツふなきとしても、どういった形で利用者さんと関わっていくのか、議論を行っていきたいと思います。

また、今回の学びの中で皆さんに特に知りたいのが、「リカバリー」という考え方です。「リカバリー」とは、“態度、価値、感情、ゴール、スキル、そして（社会的）役割を変える、個々の特性あるプロセスである。リカバリーは病気による制限がありながらも、満足で、希望にあふれた生活や充実した人生を送る方法である。また、精神疾患の深刻な影響の中で、人生の新しい意味や目的を見出すことでもある。精神疾患からのリカバリーは、単に疾患事態からの回復する以上のものである”（Anthony,1993）と説明されています。この説明は精神疾患を有する方の「リカバリー」の説明であります、 「リカバリー」という考え方自体はすべての人に当てはまるものです。この「リカバリー」という考え方を当事者、職員問わず知ることの必要性を感じました。

上記以外にも多くのことを学びました。これらの学びを日々の業務に活かしていきたいと思います。



アライアンスされた研修
の資料を見直し、役に立
てています。

ハイツふなき 阿座上 宏樹

合同ネットワーク会議 主催

9月11日（金）に生活支援センターふなき主催の合同ネットワーク会議を行いました。行政機関、精神科病院、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所といった、主に精神障害分野に携わる多くの方々にご参加いただきました。

会議では、平成26年度の活動報告や情報交換と合わせて、今回はこれまで当支援センターで関わらせていただいた地域移行支援の事例を報告させていただき、色々なご意見等をいただきました。

お忙しい中ご参加いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



次長の主張

来年、リオで開催されるオリンピック・パラリンピックの出場権を巡り、熱い戦いが繰り広げられています。その中で特に個人的に注目した競技がブラインドサッカーです。ブラインドサッカーとは、ゴールキーパー以外のフィールドプレイヤーは全員全盲で、音の出る特殊なボールを使用し、ボールの音とゴール後ろにいるガイドの指示を頼りにプレイする競技です。ボールとガイド以外は全く普通のフットサルと代わりのない白熱したゲームが行われています。彼らの研ぎ澄ました聴覚と集中力は本当に素晴らしい、見ていて全盲である事を忘れてしまいます。今回は惜しくもパラリンピックの出場権を逃してしまいました。2020年の東京パラリンピックでの勇姿が今から楽しみです。

この競技以外にも、車椅子テニス、車椅子バスケ、マラソン等パラリンピックの注目競技は沢山あります。選手達の努力は想像を絶するものがあった事でしょう。彼らの努力への敬意を忘れる事なく、選手達の輝ける瞬間を応援したいと思います。

ハイツふなき・ヴィラふなき次長 土田 美由紀

先日は年に1度の人間ドックを受けるために総合病院に行きました。健診センターの保健師さんに腹団と体重の減少だけ見ると別人と思ったとお褒めの言葉を頂き張り切って最後に医師の診察を受けると血液検査ではわずかだけど貧血気味のデータが出ていると指摘されました。外食三昧の生活を改めると健康になれると思っていましたが健康を維持していくにはバランスのとれた食事と適度な運動が大切だと実感しました。これから食欲の秋を迎えるので不安を感じています。

か細くなったり体に鞭を打って心身の健康を整えてスタッフの不安や利用者の皆さんのお想いに耳を傾けて、地域の皆さんや関係者の皆さんとの厳しいご意見にも耳を傾けながら心は豊かに成長していきたいと考えています。

宇部圏域にも新しい障害福祉サービス事業所が毎月のように開設されてきてサービスの提供状況や利用状況の確認を受ける機会も多くなっています。お問い合わせをいただいた皆さんにできるだけ正確な情報提供ができるように機会があれば足を運んで積極的に情報収集に努めようと思いつる今日この頃です。

生活支援センターふなき次長 牧 憲一郎

お盆休みを利用し実家に帰ってきました。そして帰るたびに思い出す言葉があります。それはラジオのCMで聞いたことだったと思いますが、「年に二回、お盆と正月に実家に帰省しているけど、実際あと何回、親に会うことができるのだろう。」という内容でした。

これを初めて聞いて、実際に自分に照らし合わせて考えてみたときに切ないというか、何とも言えない寂しい気持ちになってしましました。日本の平均寿命は伸びているといえ男性は「80.5歳」女性は「86.83歳」です。私の両親の年齢で考えてみると父親とはあと16回ぐらいで母親とは32回ぐらいしか会えないということになります。この回数が多いか少ないかで言えばやはり少ないと思います。親戚や友人で言えば会える年数は増えると思いますが、会える回数は少なくなります。なかなか会うことができない人の会う機会は大事にしなければとつくづく思いますし、私自身一人倍、両親に迷惑をかけてきましたので、帰省した時には人の二倍も三倍も恩返しをしなければと感じています。皆様もそういった機会があればその時間を大切に過ごしていただきたいと思います。

サムラ次長 小松 賢史

CHECK!

扶老会理念 「専門技術と温かい心をもって医療・介護・福祉を実践し、地域社会のセーフティネットとして機能する」
事業部理念 「共に考え、共に実践し、共に達成する」



〒757-0216 山口県宇部市大字船木 833

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

- ハイツふなき (0836)67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
- ヴィラふなき (0836)67-1883 グループホーム（介護サービス包括型）
- 生活支援センターふなき (0836)67-2464 相談支援・日中一時支援
- サムラ(レストラン・パン工房) (0836)67-0171 就労移行支援・就労継続支援B型

扶老会

検索

ホームページ <http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>